

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

勤務間インターバル導入のすすめ(製造業)★★★★

～労働時間(残業)を短くする工夫～

①

昨日、機械トラブルがあって、その修復が深夜までかかったみたいだ。その対応を行った職員が朝から出勤しているけど、身体が心配だ。

それは心配ですね。仕事が終わったら、しっかり休んでもらわなければなりませんよ。

ESKULENも

②

こちらとしても、休んでもらって構わないんだけど、責任感の強い従業員だから、きっちり始業時刻に出勤をしているんだ。何か良い方法はないだろうか。

今のままでは、長時間労働となる可能性も高まりますね。

③

たとえば、勤務間インターバルを導入し、強制的な休憩時間を設けてみるのはどうでしょうか。勤務間インターバルは長時間労働の解消にもつながるはずです。

導入に助成金が利用できます

インターバルが

④

助成金を活用し、勤務間インターバルを導入したところ、従業員の健康増進につながり、従業員からの評判も良好でした。

従業員の健康も確保され、人材定着につながった

◇：勤務終了後、一定時間以上の「休憩時間」を設けること

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「インターバル導入★+設備投資★★=★★★★」に該当

取組事例紹介

業種：自動車部品製造業 従業員数：69名

生産現場では、設備トラブル時に急遽、深夜時間帯に勤務する必要があるが、次の始業まで休憩時間が確保できず、労働者の健康状態が憂慮されたことから、勤務間インターバル導入※に取り組んだ。

<導入した勤務間インターバルの概要>

○勤務終了時間に応じて、翌日の入社時間を調整し、11時間の休憩時間(インターバル)※を確保する。

	21:00	23:00	8:00	9:00	10:00
例1	勤務	休息11H		勤務	
例2	勤務		休息11H	勤務	

インターバルの確保に労務管理ソフトを導入※

【勤務間インターバル導入の設備投資費用に助成あり！】
○時間外労働等改善助成金(勤務間インターバル導入コース)
助成率最大 80%
上限額最大 50万円
◆助成金には一定の要件があります。

- ・深夜勤務における負担の軽減につながり、メリハリある働き方や安定的な生活サイクルを作り出すことができるようになった。
- ・従業員の働き方を把握できる仕組みができたことから、きめ細やかなマネジメントが徹底できるようになった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階(タスクール内)

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日(祝日等を除く)午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com